

Add-on Program「多言語・多文化社会」 2009年度 1 学期 講義スケジュール

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターでは、多言語・多文化化する日本社会のいまを学ぶ教育プログラム『Add-on Program「多言語・多文化社会」』を開講しています。第一線の実践者・研究者を講師にお招きした刺激溢れる授業です。すべての講義は総合科目VIとして開講され、1 科目からでも受講できます。ふるってご参加ください。

※履修方法の詳細は、「履修案内」および科目概要（シラバス）をご覧ください。
 ※各講義のテーマ・講師は変更される場合があります。詳細はウェブサイトをご覧ください。
<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer-education/>
 ※履修希望者多数の場合には、初回講義にて抽選を行う場合があります。

1. 多言語・多文化社会論入門Ⅰ

*日本の多言語・多文化化を考えるための基礎的知識を学びます。

責任者：青山 亨 火曜日 4 限 113 教室

日付	テーマ	講師
4月14日	ガイダンス	青山亨（本学）
4月21日	ワークショップ活動。グループ分け。	木下理仁（本学）
4月28日	留学生との交流活動(1)	岡田昭人（本学）
5月12日	留学生との交流活動(2)	岡田昭人（本学）
5月19日	異文化コミュニケーション	宮城徹（本学）
5月26日	オールドカマーとニューカマー(1)	尹慧瑛（本学）
6月2日	オールドカマーとニューカマー(2)	尹慧瑛（本学）
6月9日	外国人受け入れ政策(1)	鈴木江理子（立教大学）
6月16日	外国人受け入れ政策(2)	鈴木江理子（立教大学）
6月23日	受け入れ支援(1)	薦田庸子（武蔵野市国際交流協会）
6月30日	受け入れ支援(2)	杉澤経子（本学）
7月7日	プレゼンテーションのポイント 初級編	青山亨（本学）
7月14日	学生グループ・プレゼンテーション(1)	青山亨（本学）
7月21日	学生グループ・プレゼンテーション(2)	青山亨（本学）

2. 多言語・多文化社会論（言語技能入門Ⅰ）

*教育・司法・医療などの現場における実践的通訳の心構えと基礎を学びます。

責任者：川口健一 月曜日 2 限 115 教室

日付	テーマ	講師
4月13日	ガイダンス	川口健一（本学）
4月20日	コミュニティ通訳者に求められる心得・マナー	前田節子（心理カウンセラー）
4月27日	司法現場での通訳実践	川口健一（本学）
5月11日	教育現場での通訳実践	森エルサ（足立区日本語適応指導講師）
5月18日	外国籍児童生徒の求める通訳支援	早川秀樹（多文化まちづくり工房）
5月25日	外国人住民から見た法律制度	大木和弘（弁護士）
6月1日	外国籍児童生徒支援者から見た教育制度	田中阿貴（多文化共生センター東京）
6月8日	外国人にとっての医療制度	松野勝民（済生会神奈川県病院ソーシャルワーカー）
6月15日	医療現場での通訳実践 (1)	前田節子（心理カウンセラー）
6月22日	医療現場での通訳実践 (2)	田中ネリ（臨床心理士）
6月29日	コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(1)	藤谷純子（武蔵野市国際交流協会）
7月6日	コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(2)	鶴田光子（MIC かながわ）
7月13日	まとめ	川口健一（本学）
7月23日	予備日	川口健一（本学）

3. 多言語・多文化社会論（歴史と現在）

＊日本と世界の多言語・多文化化の歴史と現在について学びます。

責任者：野本京子 木曜日 1 限 114 教室

日付	テーマ	講師
4 月 16 日	ガイダンス（授業の狙いと方法-対象地域）	野本京子（本学）
4 月 23 日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在（1）	米谷匡史（本学）
4 月 30 日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在（2）	河路由佳（本学）
5 月 7 日	中国における多言語・多文化社会の歴史と現在	澤田ゆかり（本学）
5 月 14 日	インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	青山亨（本学）
5 月 21 日	マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	左右田直規（本学）
5 月 28 日	小括	野本京子（本学）
6 月 4 日	イギリスにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	佐久間孝正（立教大学）
6 月 11 日	フランスにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	工藤光一（本学）
6 月 18 日	ロシア・東欧における多言語・多文化社会の歴史と現在	篠原琢（本学）
6 月 25 日	アメリカ合衆国における多言語・多文化社会の歴史と現在	佐々木孝弘（本学）
7 月 2 日	アイルランドにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	尹慧瑛（本学）
7 月 9 日	ブラジルにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	鈴木茂（本学）
7 月 16 日	講義のまとめ	野本京子（本学）

4. 多言語・多文化社会論（社会・文化）

＊多言語・多文化社会にかかわる理論と視角を学びます。

責任者：尹慧瑛 金曜日 2 限 113 教室

日付	テーマ	講師
4 月 17 日	ガイダンス	尹慧瑛（本学）
4 月 24 日	多言語・多文化主義の歴史的背景	尹慧瑛（本学）
5 月 1 日	多言語・多文化主義とエスニシティ	尹慧瑛（本学）
5 月 8 日	ネイションとエスニシティ	尹慧瑛（本学）
5 月 15 日	アイデンティティとエスニシティ	尹慧瑛（本学）
5 月 22 日	レイシズム	尹慧瑛（本学）
5 月 29 日	マジョリティを相対化する(1) 部落	友常勉（本学）
6 月 5 日	マジョリティを相対化する(2) 沖縄	戸邊秀明（東京経済大学）
6 月 12 日	マジョリティを相対化する(3) アイヌ	マーク・ウィンチェスター（一橋大学）
6 月 19 日	マジョリティを相対化する(4) ろう文化	市田泰弘（国立身体障害者 リハビリテーションセンター）
6 月 26 日	多言語・多文化社会における不安・恐怖・暴力	萱野稔人（津田塾大学）
7 月 3 日	アジアのなかの日本	熊谷伸一郎（岩波書店『世界』編集部）
7 月 10 日	講義のまとめ（ワークショップ）	尹慧瑛（本学）
7 月 17 日	予備日	尹慧瑛（本学）

5. 多言語・多文化社会論（実習 1）

＊Add-on Program で学んだことを社会の現場で活かし、ボランティア活動を行います（「社会論入門Ⅰ」と「社会論入門Ⅱ」の両方の単位をすでに取得していることが履修条件です）。

責任者：尹慧瑛 火曜日 1 限 103 教室

<お問い合わせ先>

東京外国語大学 多文化・多言語教育研究センター

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学 研究講義棟 319 号室

TEL: 042-330-5441 FAX:042-330-5448

Email: tc-kyoiku-addon@tufs.ac.jp URL: <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>